

こんにちは。  
株式トレーダーの川合です。

本日も動画をご覧いただき、誠にありがとうございます。

さて、あなたは昨日公開した  
「急騰銘柄傍受システム」の解説動画をご覧いただけただでしょうか。

公開してからまだ1日しか経っていませんが、  
私はまだまだあなたに私の手法を無料でどんどん公開していきます。

お待たせしました。

本日の動画では私の3つの手法の中のひとつである、  
「トルネード1%急降下砲」の具体的手順について  
公開させていただきます。

誤解しないでいただきたいのですが、  
私は最初から「私の手法を無料で公開します」とお伝えしてきました。

ですから、私は何か大それたことをやっているのではなく、  
あなたとの大切な約束を守っているだけです。

私はあなたに、自分の力だけで生きる力を付けていただき、  
相場で思う存分稼ぎ続けていただきたいと思っています。

ですからあなたも無料だからと適当に流すのではなく、  
「絶対に手法を身に付けてやろう!!」というくらいの気持ちで  
私にぶつかってきてください。

では参りましょう。

今回もメモの準備をして集中してお聞きください。

---

今回は「トルネード1%急降下砲」について具体的に解説します。

この「トルネード1%急降下砲」は空売り手法となります。

当然ですけども株価は上がって下がって、上がって下がって、  
下がることもたくさんあるわけですから、  
トレードの幅を広げるためには空売りは絶対必要なんですね。

「空売りって怖い」と思っている方は  
たくさんいらっしゃるかもしれませんが、  
決してそんなことはありません。

損切りをしっかりとっていくことによって、リスク管理をして、  
空売りを覚えて、トレードの幅を広げていただければと思います。

では進めていきます。

「トルネード1%急降下砲」のまず大まかな内容についてご説明します。

トレード時間は、朝の9時15分ぐらいから10時30分ぐらいまでに行います。  
市場は流動性のあるグロース市場、スタンダード市場をメインの市場とします。  
手法スタイルはスキャルピングと言い、短い時間での取引となります。  
数十秒から数分で決済をするようなケースも本当にたくさんあります。  
目標利益は1回のトレードで1%~3%ほどを狙っていきます。  
ただし、状況や銘柄により大きく異なります。  
日足が高い値で、強く下落を始めた場合は長く保有し、10%以上を狙うこともあります。

では詳細に入っていきます。

最初に「トルネード1%急降下砲」が生まれた背景についてお話しします。  
当たり前のことを申し上げることをお許してください。

株価は上昇するのか下落するのか、それは誰にもわかりません。

決してわからないことなんです。

本当に当たり前のことです。

もし株価の未来が分かれば、誰もが大金持ちですし、  
株価がこれからどうなるかなんて研究する必要もなくなります。

世界の情勢も刻一刻と変わっていきます。

金融政策も変わっていきますので、  
いつ何が起きるかわからない、  
いつ災害が起きるかもわからない、  
いつ地政学リスク、例えば紛争が起きるかわからない。

そんなような状況の中でトレードしているということですので、  
どのような手法でもなかなか安定して勝てません。

それは、過去の株価の動きから未来を予想するからですが、  
そもそも未来は誰にもわからないため、  
安定して勝てないのは当然の結果と言えます。

そこで、私は

- ・ 株式市場の1日の流れ
- ・ ポジションを持っているトレーダーの人間心理

の2つに着目した結果、  
非常に高確率である事象が発生することを見つけました。

それが「トルネード1%急降下砲」という手法へつながっていきます。

まず、株式市場の1日の流れを簡単に解説します。

朝方9時に寄り付きました。

そうすると非常に活発な取引が行われます。

そして、10時半ぐらいまでは活発な状態ですが、

10時半ぐらいになると急激に低調となります。  
非常におとなしく静かになってきます。

そして、前引け11時30分にかけて少しまた復活していきます。

後場の寄り付きは少しまた活発になっていきますが、  
だんだんと低調になってきて、  
15時の大引けに向けて少しまた活発になってくる。

このような流れ、これを毎日毎日繰り返しています。

この株式市場の1日の流れに着目する。  
そしてトレーダーの人間心理に着目する。

だからこそ勝ちやすいその理論的背景についてお話ししていきます。

株式市場に参加している人達も、長い間集中してトレードをすることはできません。  
適度な休憩を取ったり、次のトレードの戦略を練ったりする時間が必要です。

そのひとつが10時30分という時間であり、  
10時30分になると急激に取引が少なくなります。

では、その休憩になる10時30分までに  
トレーダーは何をするのかと言うと、  
ある程度の利益確定をしておくということ。

そして相場から離れるのでポジションを減らしておくということ。

つまり「売る」ということですね。  
売りが出やすいんです。

そのため、午前中、特に10時30分までに上昇していた株価は  
下落することが多くあります。

株式市場では毎日同じことが繰り返される1日の流れがあり、

そして多くの市場参加者がその流れに沿った行動をしており、午前中は一方的な上昇が起きにくいという特徴があります。

その背景に加え、これから詳しく説明する一定の条件が揃った時に、株価が高確率で下落します。

それを狙っていきます。

はい、それでは「トルネード1%急降下砲」の具体的なトレード手順についてお話しします。

### 1. 新興市場銘柄（グロース市場、あるいはスタンダード市場）から対象銘柄を探します。

もしも良い銘柄が見つからない場合は、プライム市場で探してもらっても結構です。

### 2. ティック回数が多い銘柄

のちほど詳しく解説します。

あるいは「値上がり率」上位の銘柄。

上がっているということが必要なので、値上がり率上位の銘柄から探すことも可能です。

### 3. 実際に上昇している銘柄

具体的には過去10分ほどで2%以上上昇している銘柄を探していきます。

### 4. 対象銘柄をチャートに表示して監視していきます。

では、具体的に

- ・ティック回数が多い
  - ・前日の終値比から上昇率が5%以上
  - ・直近10分ぐらいで2%以上上がっている銘柄
- を探していく。

この探し方についてお話ししていきます。

まず「ティックランキング」があります。

楽天証券のマーケットスピード2というトレードツールにて  
「投資情報」→「ランキング」→「市場」を選びます。

「東証グロース市場」あるいは「東証スタンダード市場」を選びます。  
「値上がり率」もしくは「ティック数」を選びます。  
すると「ティック数」の上位順に並んでいます。

まず「ティック数」が多いということが大事です。

そして「前日比」がプラスに動いているということです。

「モイ」が上がってることがわかります。  
今はここがマイナスですけどもモイが上がっていました。  
この銘柄をチャートで開きます。

朝9時、こう上がってるわけですね。

上がっているので、ここら辺で空売りを仕掛けて獲っていく。  
また上がってきましたので、空売りを仕掛けて獲って行く。  
こんな形で利益を獲っていくということですね。

はい、他の銘柄も探してみます。

「ピクスタ」が上がってました。  
今はこれマイナスですが、ここで上がっているのをチャートを見ます。

朝型こう上がって行って、そしてエントリーして1%を獲っていく。  
ここでエントリーをして7%落ちてます。  
ずっと持っていれば10%まで落ちたということで、  
非常に強く下落をしてくれました。

このような銘柄を探していくわけです。

このように実際に上がっている銘柄を監視して、  
ある条件があると落ちやすいと、  
こういうところを空売りで獲っていくということです。

では「ティック回数」が多い銘柄を選ぶ理由についてお話しします。

「ティック回数」とは取引回数のことですが、  
株価が上昇するとより多くのトレーダーが集まってきます。

買う人が増えるので、さらに株価が上昇し「ティック回数」も増えていきます。

「ティック回数」が多い=多くのトレーダーが取引をしているので  
過熱感が出ます。

過熱感が出ると、実は利益確定が入りやすくなります。

実はここは個人投資家が一番飛び乗ってしまうのです。  
どんどん上がっていくので、自分も買わなければと買いで入ってしまうのですが、  
そこが落ちるところです。

そして実際に利益確定が出ます。  
安いところから買っている人は、過熱感が出たら売ってきます。

すると利益確定がでて一旦止まってしまう。  
止まると落ちやすくなります。  
落ちるとさらに加速していきます。

はい上昇するにしても、上下への波を描きながらの上昇となります。

多くのトレーダーが参加しているので、利益が出ているトレーダーの中には、  
利益を確定させたいトレーダーも多く出てきます。

つまり「買い方」と「売り方」の力はいずれ同じ水準となり、  
上昇が止まるならば、より利益確定をして売りたいと考える人間が増えてきます。

そして、実際に下落が始まると同じ行動を取るトレーダーが出てくるため、下落の力が強まり、下落は加速することが多くなるということになります。

これが理論的な背景です。

#### 株式市場の1日の流れに沿った行動

10時30分前後までには、利益確定やポジションを減らすトレーダーが多くいることに加えて、トレーダーの人間心理に着目。

早く利益を確定させたいという人間の自然な心理ですね。

どんどん上がっていくので「自分も買わなければ」と飛び乗った人は株価が下がっていくので損切りします。

損切りをするということは、買ったものを売らなければなりませんから10時30分までの間に過熱感が出て上がってくると、高確率で反転下落が起きやすくなります。

はい、このような1日の流れ、それからトレーダーの人間心に着目するからこそ勝ちやすいその理論的背景について解説しました。

ここまでよろしいでしょうか。

もう少ししっかり学び直したい方は、一旦動画を止めてもう一度見直していただければと思います。

では進めていきます。  
先ほど「対象銘柄の探し方」のお話をしました。

対象銘柄が見つかったら、

例えば1銘柄から5銘柄ほどを5分足チャートに入れて監視をします。

5分足チャートには移動平均線の5本線を表示していきます。

では、こちらにも具体的に解説します。

「モイ」を入れたり「ピクスタ」を入れたり、  
投資情報のランキングで実際に上がっている時に  
マイページではこのように6画面を作ることができます。

例えば、画面追加というボタンを押して、  
チャート単体をクリックして持ってくると  
もう1個増やすことができました。

これを並び替えて横整列・縦整列・こだわりと並べ替えることができます。

具体的な方法は、私のYouTubeチャンネルの  
「めちゃくちゃ分かりやすいMarketSpeed2の使い方」  
で画面の設定方法を解説していますので、そちらをご覧ください。

はい、画面のところに先ほどチェックした銘柄コードを入れて、  
5分足にして監視をしていくということですね。

画面モニターが2枚ある方の場合、別のウィンドウで切り離すことができます。  
ここをクリックすると、別の画面を開くことができます。

これをひとつ目のモニターに置いて横目で確認をする。  
これをふたつ目のモニターで大きなチャートで見たり、  
ランキングを見たりしてチェックをする。

はい、朝、上がって行きました。  
上がっていたので、空売りを仕掛けたらどんと落ちて利益確定。

こちらもそうですね。

上がっていききました。

空売りを仕掛けて利益確定、空売りを仕掛けて利益確定。

こちらも空売りを仕掛けて利益確定。

ただ、これ結構強くて上がっていききました。

はい、こちらも空売りを仕掛けて利益確定みたいな感じで、監視をして、いいところに来たらエントリーを仕掛けてどんどん獲っていくという形です。

では、移動平均線の「5本線」の表示の仕方について解説します。

まずチャートを開きます。

右側が日足、左側が5分足です。

**YouTube** で詳しく解説していますけれども、設定ボタンを押します。

「トレンド系」→「単純移動平均線」にチェックを入れると、75移動平均線（長期線）が表示されます。

そして、

25本移動平均線（中期線）

5本移動平均線（短期線）

つまり過去5本の終値の平均が今ここにあります。

下がってるので、どんどんどんどんこの緑の線も下がっていきます。

25本移動平均線は過去25本の平均の終値が今ここにいますよ。

実際に株価が下落してるので、こちらの25本も下がっていきます。

75本も同じように過去75本の平均が下がっていきますという形です。

どの証券会社でも必ず表示されます。

この緑の5本移動平均線に注目していきます。

緑の5本線から離れて過熱感が出てきたら売りのエントリーチャンスです。

ただ、離れたというのが抽象的ですので、具体的にチャートにて解説します。

はい、例えば「モイ」。

朝寄り付いていくんですね。

そして監視します。

この時はまだ5MAから下髭でタッチしてるんですね。

この足は5MAと絡んでますね。

タッチして上がっているのでここでは入りません。

次の足はすごい上がっていききました。

この5MAから離れていく。

そしてこちら辺にラインもありますから空売りを仕掛けます。

どんと落ちます。

この1分か2分ぐらいで1%獲れちゃうんですね。

実際ここまで持っていれば3%獲れてしまうんですね。

じゃあ、もう一回監視していたらまた上がってきたなど。

上がってきたので、次の足でエントリー。

5MAから離れてます。

ここは5MAから上がっていくので入らない。

実際にはこのままさらに上がっていったところで

エントリーが一番いいでしょうけど、  
この銘柄の場合はもう上髭が出てきました。

そして、5MA から離れたところでエントリー。  
そうすると5MA に回帰しやすいんですね。  
ですのでこう落ちていく。

これでまた1%利益確定。  
これでもう2%ぐらい利益確定できてます。

これ終日持っていれば、どんどんどんどん落ちていきますよということで、  
すごい勝てましたね。

では、他の銘柄。  
「ウェルスナビ」が朝高く寄り付いて上がっていきました。

具体的に動かしてみましよう。

高く寄り付いているのでプラスで推移しています。

こう上がっていきます、5MA がようやく追いついてきました。  
追いついてくるので、ここら辺は上がりやすいんですね。

上向き5MA に押されるようにして上がっていきます。  
上がっていたんけれども、5MA から離れた足です  
ラインもこういう風に引けてきますということですね。

このように引けてきますので、ここでエントリーしました。  
ここでガンと落ちて利益確定、これで1%獲れてます。  
5MA に回帰しています。

また上がってきました。  
5MA に離れた足でエントリーしてみました。  
ラインもあります。

そうするとこう落ちてくれて、

結局またここでも1%しっかり獲れますということです。

では「ミンカブ」を見てみます。

すごい高く寄り付いて落ちてきています。  
こういう場合はまた空売り仕掛けしやすいですね。

落ちてきました。  
前日より高いので監視銘柄に入れました。

ここはまだ5MAが追いついてきたところで上がりやすい。  
上がりやすいんですけど、この足が5MAから離れてるんでエントリーです。  
はい、エントリーしてこう落ちていくところを獲っていくと。

10時半までにはしっかり落ちますよということですね。  
たくさんありますこういう銘柄。

上がっているので陽線が伸びていく、どんどんどんどん買いが入ってる。  
飛び乗りたくなっちゃうですけども逆です。  
ここは売っていくんです。

5MAから離れたら5MAに回帰していくので、  
こう落ちてくところ獲って行って  
少し伸ばせそうだったら伸ばしてみるという形ですね。

「トレンドーズ」も見てみましょう。

前日より上がっているので監視銘柄となりました。  
そして5MAから離れた足でエントリーをしました。  
5MAから離れて次の足でエントリーをしました。  
ラインもたくさん引けます。

そうしますと、ここでエントリーをして  
あとはこう落ちていくところを獲っていくと。

十分に利益が乗りました。

こちらの日足の環境認識もしながらですけども、  
もう既にすごい上昇してたんですけど、5 MA の下にも来ました。

上値切り下げってだんだん弱くなってきてるよという状態が確認できます。

監視してたら上がって行って、5 MA からこれ近い足は入らない。  
5 MA から離れたところでエントリーして1%すぐに獲っていく。

また上がってきました。  
5 MA から沿って上がって、5 MA から離れた足でエントリー。  
ここでも2%獲れてますね。  
終日持ってればすごい落ちてくれました。

もう少し大きなチャートで見っていきます。

ここは5 MA から絡んで、5 MA に沿って上がってる。  
そこから押されるようにして上がってる足では絶対に入らない。  
そして5 MA から離れてます。  
完璧にこことこの間が離れてます。  
そこでエントリーをします。

そして、ドーンと回帰するところを獲っていったというパターンとなります。  
はい、これもしっかり3%ぐらいあつという間に獲れたということですね。

これまで「トルネード1%急降下砲」の勝ちやすい理論的背景、  
銘柄の探し方、そしてチャートの設定の仕方、  
エントリーポイント（5本線から離れたらエントリーする）ということで、  
10時半までには非常に勝ちやすいトレード手法となりますので、  
ぜひ試してみてください。

最後に補足です。

グロース市場では売りトレードができない銘柄が多くありますが、松井証券、SBI証券、楽天証券では一日信用取引として空売りができます。

ですので、こちらの証券会社で使っていただければと思います。

いかがでしたでしょうか。

空売りで勝てる銘柄をたくさん探せることがおわかりいただけたと思います。

みんなが飛び乗ってくるところで逆に空売りを仕掛けるからこそ勝ちやすいということがご理解いただけたと思います。

そして、私の教え子さんの中で、この手法をずっと続けてる方、月間の勝率が90%以上を何年間も続けてる方はたくさんいます。

ぜひ「トルネード1%急降下砲」にて、存分に稼いでいただければなと思います。

ただ、私はもっと楽をしたくなって下落するポイントをより効率的に探したいという思いでツールを開発しました。

次回動画では、下落しやすいポイントを自動的に見つけてくれる「トルネード1%ツール」の詳細を公開します。

非常に優秀なツールとなりますので、ぜひご覧いただければなと思います。

はい、それではですね。

今回は「トルネード1%急降下砲」の具体的な解説をさせていただきました。

最後までご指導くださりまして、ありがとうございました。

---

いかがでしたでしょうか。

ご覧の通り、「トルネード1%急降下砲」がどこを見て何をやるというルールがとにかくわかりやすく明快であることがおわかりいただけたと思います。

しかも午前9時15分～10時半という黄金タイムの「75分」にのみ「トルネード1%急降下砲」は強烈な力を発揮します。

だからこそ、「トルネード1%急降下砲」は瞬間的に大きな収益が得られるのです。

つまり裏を返せば「トルネード1%急降下砲」は、10時半以降はもう、何もトレードをしなくても良いということ。

そう。トコトン自由なのです。

ですから、多くの教え子たちの生活スタイルはどんどん変化しています。

皆、どんどん自由になっているのです。

皆、時間の制約がなくなり、どんどん人生を謳歌しているのです。

余談ですが、前回の動画で解説した「急騰銘柄傍受システム」は株価が上昇しているときに特に有効です。

一方で「トルネード1%急降下砲」は株価が下落しているときに特に力を発揮します。

是非「急騰銘柄傍受システム」と「トルネード1%急降下砲」を

一緒に取り組んでみてください。

こうしたやり方を一般的に「ポートフォリオを組む」と言うのですが、  
どちらかが負けてしまっても  
どちらかが勝っているので安定感が増すわけです。

あるいは、相場の状況に応じて、どちらかをメインで取り組むか  
オンオフを使い分けても良いでしょう。

どうぞ、自分に合ったスタイルで取り組んでみてください。

何より重要なのは、「稼げる手法」という「収益の柱」を  
あらかじめ複数抱えておくということ。

そうした複数の収益の柱をバランス良く活用することができれば、  
それはつまり、継続的に稼ぎ続けることができるということと同義になります。

その先にあるもの。

それは、あなたが「自分の力で生きることができる」という状態にあり  
いつでも、どこでも、お金を稼ぐことができるという状態にあるということなのです。

本日は「トルネード1%急降下砲」について、詳しく解説をさせていただきました。

動画を何度も見返して、明日からのあなたのトレードに活かしてみてください。

今回の動画では私のトレードを強力に支えるツールについて解説させていただきます。

これまでにきちんとお伝えしてきませんでした、  
「急騰銘柄傍受システム」と「トルネード1%急降下砲」には、  
トレードの面倒な部分をすべてカバーしてくれるツールが存在します。

このツールがすべてのお膳立てをしてくれるので  
あとはツールの結果を見てあなたは証券会社でトレードするだけというシロモノです。

もちろん私はそのツールを利用して毎日トレードを行っていますし、私の教え子たちも利用しています。

特に、毎日忙しく働いている方には救世主とも言うべきツールですので、とりわけ、日中忙しく働いている教え子たちは、このツールのおかげで収益がすごい勢いで加速し、同時に時短が可能になったと口々に言います。

次回の動画で「急騰銘柄傍受システム」と「トルネード1%急降下砲」と、それぞれ専用開発したツールについて丁寧に解説させていただきますのでどうぞ楽しみにしてください。

改めまして、本日は動画をご覧くださりありがとうございました。

それでは、次回の動画でまたお会いしましょう。